



伊藤まさひろ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

12月県議会一般質問 佐倉市特集

その経緯を経て、佐



道路整備問題などを質問する伊藤昌弘県議

県道佐倉印西線

田町バイパス整備 今年度中に方向性

「夢のあるまち佐倉」の実現を目指して、日々の政治活動に全力投球している伊藤昌弘県議(佐倉市選出、2期目)は昨年末の12月県議会一般質問に立ち、県の施策や方針を県執行部に尋ねました。道路問題では県道佐倉印西線田町バイパス整備を取り上げ、今年度中に整備の方向性をまとめるとの答弁を担当者から引き出しました。また、市内を流れる河川の治水工事について質問し、高崎川の樋之口橋架け替え工事の速やかな進捗を要望しました。伊藤議員の質疑と県執行部の答弁を特集します。

伊藤議員 主要地方道佐倉印西線は、北は国道356号から印西市の千葉ニュータウンを経て、南は国道51号までを結ぶ、県北西部における重要な道路である。県道佐倉印西線田町バイパスの進捗状況を毎回質問し、その際に路線の延長線上にある山王地先から国道51号までの区間の整備の830億円を佐倉市の事業で、約1100億円の区間を県事業において実施されるよう要望してきた。しかし、「県において現在着手している事業の途中で、同じ路線上の計画していない新たな道路整備は難しい」といわれてきた。

田町工区の早期完成を強くお願いする」という趣旨の答弁を行った。そこでうかがうが、県道佐倉印西線田町バイパスの進捗状況はどうか。県土整備部長 県道佐倉印西線田町バイパスは、佐倉市街の交通混雑の緩和を図るため、佐倉市田町地先の国道296号から岩名運動公園に至る1.5キロの事業です。このうち、現道拡幅区間となる0.5キロについては、優先的に整備を進め、今年度より、用地取得済みの箇所、歩道整備を行っております。

また、バイパス部については、鉄道と国道の近接や、軟弱地盤など、非常に厳しい

倉市の12月市議会において、最大会派である「さくら会」の代表質問で、この問題を取り上げ質疑があった。進捗状況を尋ねる質問に対して市長は「山王地区から国道51号までの道路整備を千葉県と佐倉市の両方で整備するよう県にお願いしていたが、佐倉市単独で整備する。その代わり、県が進めている

い施工条件となるため、交差形式などについて、現在、検討を進めているところであり、今後、早期に、整備の方向性を取りまとめていきたいと考えております。再質問 伊藤議員 早期に整備の方向性を取りまとめることと答弁いただいたが、いつまでに取

りまとめるのか。県土整備部長 厳しい施工条件の中で、今年度内を目指し、最適な施工方法と整備の方向性を取りまとめてまいります。伊藤議員 佐倉市も全面的に協力をしたいとのことですので、今後の推進をお願いします。

来年末までに部分開通

伊藤議員 国道296号は匝瑳市から成田市、佐倉市を経て船橋市に至る東西を結ぶ広域的な幹線道路であり、これまで酒々井町から佐倉市、八千代市、船橋市までの区間で整備が進められている。国道296号はかつての成田街道の名残もあり、城下町や宿場町といった風情が見られる道路だが、複数の市外を通過する道路でありながら、道幅も狭く、十分な歩道も無いことから、通勤者などによる交通量が增大し、佐倉市内の増加する交通量と相まって、慢性的な交通渋滞をきたしている。特に京成ユーカーが丘駅周辺から東葉高速鉄道と京成本線が接続する勝田台駅周辺の交通渋滞は、一層激しさを増している。

このような中、交通の分散化を図り、円滑な交通を確保するため、佐倉市上座地先から八千代市米本地先の国道296号八千代バイ

伊藤まさひろ・PROFILE

- 略 歴 ■
- 昭和30年 佐倉市に生まれる
- 昭和53年 日本大学法学部卒業
- 平成7年 佐倉市議会議員当選
- 平成19年 千葉県議会議員当選
- 平成23年 千葉県議会議員再選

- 現 職 ■
- 千葉県議会 健康福祉常任委員会委員
- 日大習志野高校同窓会 会長
- 佐倉リトルシニア野球協会 会長
- 佐倉ライオンズクラブ 会長
- 佐倉青年会議所OB会 会長

●県政や佐倉市のまちづくりに関する悩みごと、気軽にご相談下さい!!

伊藤まさひろ 県議事務所

〒285-0811 佐倉市表町3-6-28
TEL.043-485-8019
FAX.043-486-1616

来年度、架け替え着手

高崎川樋之口橋



再質問をする伊藤昌弘県議

にあつてしまつた。

またいつ、このよ
うな状況になるか
心配。一日も早い
橋の架け替えが求
められている。

そこで、高崎川、
鹿島川の河川改修
について進捗状況
と今後の見通しを
うかがう。

県土整備部長
鹿島川・高崎川に
つきましては、西
印旛沼から5・4
キロを整備区間と

伊藤議員 印旛沼に流入する河川は上流部は台地で、中下流部が低平地であるという地形的な要因から、洪水被害が生じやすい地域になっている。

印旛沼流域のなかでも、浸水被害が心配されるのが、高崎川と鹿島川流域。周辺に住む住民はもちろん、倉市民にとって高崎川と鹿島川が安全で安心な川となるように切に願っている。

現在、県において、河川改修工事が進められており、水害対策は順調に進んでいるが、今年10月に発生した台風26号でこの高崎川においても川の水があふれ、床下浸水の被害が発生した。今後は更なる大型台風が発生や、予測できない集中豪雨など、治水対策の必要性

はますます高まっている。この高崎川、鹿島川においても、一日も早い河川改修工事の完成を目指さなければならぬ。

樋之口橋の架け替えが課題となっている。台風26号の時に河川の水が満杯になり、その水が橋の側面にあたりこぼれ出て、あつという間に周辺の家が床下浸水の被害

再質問をする伊藤昌弘県議

鹿島川・高崎川につきましては、西印旛沼から5・4キロを整備区間と

し、これまでに3キロ区間の改修が完成したところで、今年度は、平成24年度に完成しました佐倉橋付近の河道掘削や護岸工事など

カミツキガメ 卵の駆除必要

伊藤議員 特定外来生物の駆除についてうかがう。

カミツキガメの捕獲について、今年度の取り組み状況はどうか。

環境生活部長 県では、カミツキガメの防除実施計画に基づき、平成19年度から印旛沼への流入河川を中心に捕獲事業を行っています。

今年度は、生息密度が高いと思われる高崎川及び南部川において、ワナの設置回数を増やしたり、新たに付近の水田の用水路に小型のワナを設置するなどの試みを行いながら、6月から10月にかけて捕獲事業を実施しました。

その結果、捕獲頭数は、

を実施しており、また、上流にある樋之口橋についても、来年度から架け替えの

工事に着手する予定です。伊藤議員 樋之口橋の架け替え工事に

ついて、今後、順調に工事を進めていただくようお願いする。

合併処理浄化槽の法定検査 印旛沼水質浄化へ受検率向上を

伊藤議員 印旛沼流域での高度処理型の合併処理浄化槽の整備状況はどうか。
環境生活部長 平成24年度までの最近5年間で、国・県及び市町村の助成により整備された合併処理浄化槽は1573基となっています。
このうち窒素やリンの除去に有効な高度処理型は1526基であり、その割合は97%となっています。また、平成25年度はすべてを高度処理型とし、約280基の整備を予定しています。
伊藤議員 浄化槽の法定検査受検率向上にどのように取り組んでいるのか。
環境生活部長 平成24年度の浄化槽の法定検査受検率は、使用開始直後の検査は61・3%であり、その後1回の定期検査にあつては、6・5%となつて

います。県では、これまでに浄化槽検査の申込みを浄化槽設置に係る補助金支出の要件とするなど、受検率向上に努めてまいりました。また、本年度からは新たに、関係団体が実施する保守点検契約時に合わせて、法定検査の契約を可能とする取り組みを開始し、設置者に対する検査制度の周知や利便性の向上を図ることとしました。
伊藤議員 浄化槽の法定検査の受検率について、前回質問時平成24年12月、ほとんど変わらない状況にある。未受検の場合、公共用水域の汚染を引き起こす可能性がある。受検率向上のために、新たな取り組みをすることだが、大きな向上が図られることを期待する。

に実施し、5か所で計140個の卵を発見し、その全てを駆除したところです。今後とも、捕獲事業や卵

の探索の実施結果を分析しながら、より効果的・効率的なカミツキガメの駆除に努めてまいります。

議」の中のワーキングで、より効果的な駆除方法などについて検討を開始したところです。

伊藤議員 ナガエツルノゲイトウ駆除の今年度の取り組みと今後の対策はどうか。

環境生活部長 県では、印旛沼及び流入河川において、河積の阻害など治水上支障のある箇所を中心に、

ナガエツルノゲイトウの駆除を行っているところであり、今年度は鹿島川の京成橋梁及び工業用水取水場付近の2か所で駆除を行う予定です。また、今年8月より、「印旛沼流域水循環健全化会

今後、これらの検討結果も踏まえ、さらに適切な駆除に努めてまいります。伊藤議員 台風26号による機場への影響があったと聞いているがどうか。県土整備部長 主に、水資源機構が管理する大和田機場と、印旛沼土地改良区が管理する吉高機場の2施設に漂着したところです。いずれの施設でも、排水

ナガエツルノゲイトウ 駆除時期の検討を

伊藤議員 公共施設への雨水貯留浸透施設設置の進捗状況と今後の予定はどうか。

県土整備部長 県では、印旛沼流域内の県立高校18校で、雨水貯留浸透施設を設置する計画で、これまでに7校で完了し、今年度は四街道市内の高校に着

手したところです。

雨水貯留浸透施設 四街道高校に整備

伊藤議員 今年度の状況をみると、台風シーズンの前に駆除しておかないと繁茂したナガエツルノゲイトウが機場に流れ込んで壊してしまうとか、不具合が生じてしまつと思つ。そういつたことを考えると、台風の前にやった方がいいのか、本当に落ち着いてある程度繁殖した後、全体的に取つてしまつ方がいいのか、難しいと思つが、状況をよく検討して、駆除の時期については取り組んでいたかどうか要望する。

伊藤議員 今年度の状況をみると、台風シーズンの前に駆除しておかないと繁茂したナガエツルノゲイトウが機場に流れ込んで壊してしまうとか、不具合が生じてしまつと思つ。そういつたことを考えると、台風の前にやった方がいいのか、本当に落ち着いてある程度繁殖した後、全体的に取つてしまつ方がいいのか、難しいと思つが、状況をよく検討して、駆除の時期については取り組んでいたかどうか要望する。